



# グループ通信

## ふれディア

**FUREDHIA**

発行/ふれディアグループ本部 編集部

〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4

朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017

こんにちは、ふれディア通信編集部です。 暖かい日差しが多くなり、本格的な春の訪れが待ち遠しい季節になりました。 桜や蝶など春の訪れを感じさせてくれるものはたくさんありますが、暖かさと共に日本にやってきて夏を過ごすツバメもその一つです。 ツバメはフィリピンやベトナム、マレーシアなどおよそ2000km~5000kmも離れた所から海を渡って日本にやってきます。 詳しくはわかっていませんが、ツバメは太陽の位置を目印に方角を把握して、道に迷うことなく長い距離を飛ぶことができるのだそうです。 3月頃に九州に姿を見せると、暖くなるにつれて北上して日本各地で巣を作ってヒナを育てます。 子育てが成功すると同じ場所に帰って来て同じ巣を使うこともあり、毎年楽しみに待っている方も少なくないようです。 巣の下にはフンや羽が落ちて汚れてしましますが、それでもヒナが育つ様子をみていると可愛らしく思えますし、「ツバメが巣を作る家は病人が出ない」とか、「三度巣を作ればお金持ちになる」と言われていて縁起がいいとされています。 わざわざ人のいる場所を選んで巣を作るのは、カラスなどの外敵から身を守るためらしいので、とても賢い鳥ですね。 家の軒先やビルはもちろんですが、高架下のライトの上なども人気物件なのだそうです。 オスとメスが協力して枯草やワラ、泥などを材料にして巣を作り、メスは5個前後の卵を産んであたためます。 2週間くらいで孵化して巣立つまで3週間ほど、ヒナは餌をたくさん食べてどんどん成長します。 ヒナが並んで大きな口を開けている映像がよく紹介されますが、お腹がいっぱいになったら餌をねだらずに後ろに下がり、お腹がすいていると前に出て、ヒナたちは偏りなく餌がもらえるようになっています。 ヒナ一羽でハエやガのような虫を一日に100匹以上食べると言われていて、親鳥は協力して給餌しますが、かなり大変ですよ。 子育てが終わると一家は巣から離れて集団で過ごすようになり、9月から10月頃にまた南方へ渡っていきます。 最近は田んぼや農地の減少、住宅様式の変化でツバメが減っているそうですが、自然を守り育ててこれからも春の訪れを教えてください。 3月は人間も何かと忙しい時期ですが、ツバメのようにたくましく元気に春を楽しみたいです。

ふれディア通信編集部

## 幸福の前ふれ? 不幸の予兆? ラッキージンクス&アンラッキージンクス

今月のジンクス

「花にまつわるジンクス」



春は花の季節ですね。 花にまつわるジンクスといえば、花びらを1枚ずつ外しながら「好き、嫌い、好き…」と数える恋占いが有名です。 ほかにも、「バラの花を部屋に飾ると良いことがある」というジンクスは、愛の女神のギリシャ神話が由来しているとか。 また、「満開の桜の木の下で好きな人と愛を誓うと、ずっと幸せに過ごせる」というジンクスもあります。 これはとても日本らしいですよ。 海外に目を向けてみると、フランスでは5月1日の「スズラン祭り」で「スズランを贈る、もしくは贈られると幸せが訪れる」と言われています。



一方でアンラッキーなジンクスもあり、「竹の花が咲くと不吉な事が起こる」とか、“49”から“死”を連想させるために「シクラメンを持ってお見舞いに行っはいけない」とか、「花を枯らす家は栄えない」「神社の木を切り倒すと良くない」といったものもあるそうです。 皆さんはいくつご存じでしたか?

日本や世界には、さまざまなジンクス・迷信・言い伝えがあります。 ただし、ジンクスはあくまでもジンクス! アンラッキーなジンクスが起きても科学的な根拠はありませんのでご安心ください。